



気 持ちいい〜！ の大歓声！ みんな〜の顔に **笑み、笑み、笑み！**

8月10日（土）晴れ「川の自然楽校」参加者子供9人、大人17人 三森講師

川 で遊ぶ子ども達のことを川ガキとか水ガキと呼びますが、今や絶滅危惧種になっています。護岸の整備や水質汚濁に加え、危険だから近寄らないという社会的風潮により、川遊びを楽しむ人たちがいなくなっていました。

子供の頃、夏と言えば川遊び。魚をとったり、泳いだり、自然を友に遊びほうけていました。あの楽しさを今の子ども達にも味わってもらいたいと思い、川遊びに力を入れることになりました。川の自然楽校の開催です。

ま ずはライフジャケットの使い方を学びました。

水に慣れるということを第一義に、浮き方や足を下流に向け流れること、スローロープの投げ方（写真下）など、流された時の対応方法を学びました。



ご注意

- 川遊びは自己責任で遊びましょう。子ども達だけでは遊べません、昔の川ガキ、数名のサポートが必要です。
- 相模川下流域は深く、干潮時にしか入れません。汐見表で時間帯を調べ、入る時間、出る時間をチェックしましょう。降りる場所、出る場所のチェックも忘れずに。
- 水はだいぶきれいになりましたが、泳げる川ではありません。ライフジャケットは必携です。
- 川に異物が落ちているため、磯タビやズックで入りましょう。走り回らないこと、転ぶと危険です。

理屈は抜き！川遊びはとにかく楽しいのであります！



- 魚とりは大盛り上がり。子ども達の目が輝いていました。
「楽しい～」の連続なのでした。こちらも力がはいります。
- この日は見つかったのは、ウグイ、オイカワ、マハゼ、ヒナハゼ、チチブ、アシシロハゼ、ヨスジフエダイ（幼魚）、シマイサキ（幼魚）、ニゴイ（幼魚）テングヨウジ、コトヒキ（幼魚）、テナガエビ、アリアケモドキ、クロベンケイ。
まだまだいろいろな生き物たちに会えそうです。次回をお楽しみに！